

茅ヶ崎市成年後見制度利用促進に関する会議体の整理

～30年度

31年度～

33年度～

既存の審議会に、成年後見制度利用促進基本計画に関する所掌事項を追加

＜茅ヶ崎市地域福祉推進委員会＞

【所掌事項】
地域福祉計画及び成年後見制度利用促進基本計画の策定及び変更並びに当該計画に基づく施策の推進に関する事項につき市長の諮問に応じて調査審議し、その結果を答申し、又は意見を建議する
【位置付け】
条例（附属機関）
【メンバー】
茅ヶ崎市成年後見制度利用促進研究会（仮称）より1名＋既存の地域福祉計画推進委員会の委員15名

継続

＜茅ヶ崎市地域福祉計画推進委員会（仮称）＞

引き続き、計画の調査審議、進捗管理、評価を行う。

＜茅ヶ崎市市民後見人養成連絡調整会議＞

【所掌事項】
(1) 市民後見人養成基礎研修について
(2) 市民後見人養成実践研修について
(3) 養成研修終了後の活動支援体制の構築（関係機関の連携）について
(4) その他、市民後見人の養成や活動に関わる事項
【位置付け】
（市社協への委託）
【メンバー】
弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士、茅ヶ崎医師会、湘南ふくしネットワークオンブズマン、地域包括支援センター、茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会、障害福祉課、高齢福祉介護課、福祉政策課、茅ヶ崎あんしんセンター（市社協）（事務局）

会議の所掌事項を拡大し、市の要綱設置

＜茅ヶ崎市成年後見制度利用促進研究会＞

【目的】
成年後見制度に関する有識者に市の権利擁護推進に係る諸施策の意見を聴取する。
【所掌事項】
(1) 権利擁護の地域連携ネットワーク構築に関すること
(2) 成年後見制度の利用普及、権利擁護の啓発活動に関すること
(3) 困難事例の問題点の整理及び支援の方向性に関すること
(4) 後見人等選定の方向性に関すること
(5) 市民後見人の養成や活動に関すること
(6) その他、成年後見制度利用促進に関わる事項
【位置付け】
要綱（要綱等により設置する懇談会等）
【メンバー】
弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士、茅ヶ崎医師会、湘南ふくしネットワークオンブズマン、地域包括支援センター、茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会、茅ヶ崎あんしんセンター（市社協）、障害福祉課、高齢福祉介護課、福祉政策課（事務局）

地域連携ネットワークにおける「協議会」に移行

国の成年後見制度利用促進基本計画において
中核機関が設置することとされている「協議会」（会議名称等未定）

地域連携ネットワークにおける「協議会」機能を持つ会議体として位置付ける。
【機能】
・中核機関の機能に対する助言・評価
・「チーム」を支援するための連携体制の構築・強化
・基本計画に関する意見聴取の場
【位置付け】
未定
【メンバー】
弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士、茅ヶ崎医師会、湘南ふくしネットワークオンブズマン、地域包括支援センター、茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会、茅ヶ崎あんしんセンター（市社協）、障害福祉課、高齢福祉介護課、福祉政策課
※事務局は中核機関が担う

移行

＜茅ヶ崎市成年後見支援ネットワーク連絡協議会＞

【所掌事項】
(1) 困難事例の問題点の整理及び支援の方向性の検討
(2) 第三者後見人選定の方向性の検討
(3) その他成年後見制度の利用普及、権利擁護の啓発活動に関する検討
【位置付け】
規約
【開催頻度】
年6回
【メンバー】
弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士、湘南ふくしネットワークオンブズマン、茅ヶ崎あんしんセンター（市社協）、地域包括支援センター、一般相談支援事業所、地域福祉総合相談室、障害福祉課、高齢福祉介護課、地域保健課、福祉政策課

発展

＜茅ヶ崎市成年後見支援ネットワーク勉強会＞

【目的】
成年後見制度に関するグループワーク等の手法による勉強会を実施し、関係機関との顔の見える関係性づくり、支援・連携の方法を学ぶ。
【所掌事項】
(1) 困難事例の問題点の整理及び支援の方向性の検討
(2) 第三者後見人選定の方向性の検討
(3) その他成年後見制度の利用普及、権利擁護の啓発活動に関する検討
【位置付け】
規約
【開催頻度】
年3回
【メンバー】
弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士、湘南ふくしネットワークオンブズマン、茅ヶ崎あんしんセンター（市社協）、地域包括支援センター、一般相談支援事業所、地域福祉総合相談室、障害福祉課、高齢福祉介護課、地域保健課、福祉政策課

継続

＜茅ヶ崎市成年後見支援ネットワーク勉強会＞

引き続き、成年後見制度に関するグループワーク等の手法による勉強会を実施し、関係機関との顔の見える関係性づくり、支援・連携の方法を学ぶ